銘菓
平（ぴん）餅（ぴん）
松月堂

三和新報
THE SANWASHIMPO
第２７６號（昭和２９年６月１７日第三種郵便物認可）
日刊（日曜・祝・祭日を除く）　購読料　１カ月　５０円

3月29日
（火曜日）

発行所
三和新報社
平市六丁目
電４７２番

進学・卒業記念に
机・本箱
姫　鏡台　特売中
あるが
平市銀座街ＴＥＬ２２３

波乱をよんだ平市會

注目の野沢爆弾、多数で通過

議長、聴衆に退場を命ず

平市会最終日の廿八日は卅年度予算可決のあと、午後四時五十分から、かねて注目のいわゆる「野沢バクダン動議」をおよそ四百名の傍聴者がカタズをのんで待つ中に上提した。これは「平市会常任委員会及特別委員会条例改正の件」で第六条第一項の次に「但し土木建築請負を業とする議員（法人の代表及び重役を含む）は土木委員会委員となることができない」と規定するもの。

この条令改正は去る一月の市会で「強口、鈴木政一両議員の土木委員辞退勧告」の形で提案し否決されており、二度目の登場だが野沢議員の提案趣旨弁明が強口　鈴木両議員の個人攻撃におよんだため強口、鈴木、大ミネ庫氏らの発言をめぐつて議場は大混乱、真木副議長はついに傍聴者の退場を命ずるという緊迫した場面をみせつつ採決の結果多数で可決、野沢議員の属する市政会大ミネ議員の属する革新会系議員の宿望が四年ぶりで通つた。ついで志賀議員の「ザル水そう」緊急動議を発端として諸橋市長が、かつてみない強硬な態度で志賀、大ミネ議員に詰めより憤満をバクハツさせるなど平市会近来稀な波らんをみせて午後六時五十分閉会した。

廿八日の平市会は昨報の卅年度予算関係及び条例改正の全議案を委員長報告通り可決したあと、午後四時半から野沢議員の「平市会常任委員会及び特別委員会条例改正の件」を上提した（金古議長退席真木桓副議長が代つて議長席につく）

野沢議員＝土木行政の明朗化のため一月の市会で土木業者は土木委員を辞退するよう提案したが否決されてしまつた。市民は税金を土木業者に食われてしまうと不安になつている。具体的に述べると強口委員長は職権を乱用して東部産業に落札した仕事を「東部産業は悪い業者で不正工事をする危険がある」と入札を取消させ自分が請負つてしまつた。しかも「悪い業者だ」といいながら二十五日の弓道場の入札のときは、自分で斡旋して三十一萬円で東部産業に落札させた。「悪い業者」ならどこまでも排撃すべきではないかまた下荒川の救農土木事業はその性質上、当然地元農民に請負わせるべきであるのに、これを自分で取上げ、十萬円のピンハネをしたといわれている。しかも地元民に五萬円の寄附をしたといいながら今までに五萬円を寄附した事実はない。さらに鈴木（政）議員は二十五日の入札で農業水路六十萬円の仕事をとつたが入札のとき強口委員長は「条例改正でわれわれは土木委員になれなくなるから鈴木に最後の仕事をさせてくれ」といつたという風聞がある。三十年度予算三億五千萬円のうち三分一を占める一億二百萬円を土木費で占めている。市民の納税不安を除き明るい土木行政にするためこの改正案を提案したが全議員一人残らず賛成してくれるものと固く信じている。

（賛否のヤジ、バ声で議場騒然）

鈴木政一議員＝野沢君は一月市会でこの条例改正が流産したのは金古議長が悪いといつているが議会で決めた議長をバカ呼ばわりする野沢君の方が狂人である狂人の提案は取下げるべきだ。

（傍聴席騒然）

大嶺庫議員＝こういう議員自身に関係ある問題を討議する場合は該当議員は発言権が無いと自治法三十条にある。強口、鈴木両議員を退場させよ。

強口議員＝野沢君はウソをいうがこの提案には賛成する。しかし五月に生れる新議会で、この条令改正は引つくりかえされまた元に戻つてしまうだろう、何が正しいかは五月になると分る。野沢君は私が東部産業をオミツトしたようなことをいつているが　東部産業とは今も親しくつき合つている。また下荒川の土木事業は三十萬以上で随意契約の出来ない工事だから自分がやつたのだ。五萬円寄附したとかしないとかいつているが、五萬円ぐらいの金でウソをつくような私ではない。要するに野沢君や大嶺君は他人の悪口をいつていないと眠れない種類の人たちだ。平競輪をつくるとき反対したのも野沢君だ。卅米道路が一年のびたのも野沢君のためだ…」

（野沢議員「議案に関係なし　議長は発言を中止させよ」と数回にわたり真木副議長に詰めよる。議場騒然。）

眞木議長＝強口議員の発言を中止します（大嶺庫議員発言をゆるされ登壇しようとしたが強口議員にさえぎられ登壇できず議場喧騒、その眞ン中で強口、大ミネ鈴木寅、多田井議員など入乱れ右往左往、眞木副議長ついに傍聴者に退場を命じ、一旦休議）

この間、平青年同志会が交渉、傍聴者は静しゆくにすることを条件に再開

大嶺庫議員＝強口議員は下荒川の工事で三十萬以上の仕事は登録業者でないとできないとしばしばいつているが条例には特例として下荒川工事のような救農工事の場合は金額の如何によらず地元で随意契約することができることになつている、強口議員は土木委員長でありながら条例を知らない。職権を濫用しているばかりでなく、このような救農工事を自分で取上げるなどは人間的にいつてもゼロである。また強口議員は城坂踏切の賃貸料を支払わぬことを自慢にしているが踏切問題を未解決にしておくことは強口議員や市当局の怠慢である。市当局は市民に陳謝すべきだ

強口議員発言を強引に求めたがゆるされず挙手採決の結果、多数で可決。

両陛下御通過

五日午後一時半

既報＝天皇、皇后両陛下は四月五日午後一時三十分平着のお召列車で宮城県下の植樹祭と産業視察に向われ八日午後二時二十九分平発で御帰京される。平駅の停車時間はそれぞれ五分間でホームへの入場は官衙庁の長と報道関係など制限される。また平署をはじめ鉄道沿線各署では全署員を動員して警備に当る。

平市會雑観

○…野沢議員、県会立候補声明や「野沢バク弾」の市会通過でここのところ平市の話題を一人でさらつている。傍聴席ではアンちやんからお父ツちやん、妙齢の御婦人まで手に汗をにぎつて立つたりシヤガンたり、また立つたり。

○…「発言を継続させろ」という強口議員「次は俺の番だ」と大ミネ庫議員、演壇ちかくで乱斗もどきのツバゼリ合い、多田井議員が「まアまア」と中に入つたが、ついには仲裁人もコウフンする始末であツちにとびこつちにとび、まるでスクエアダンスのようだとは傍聴人のささやき。

○…卅年度予算はさきに質疑を終り委員会附託となつたのだから廿八日は委員長の報告で、討論採決と運ばれるわけだが、議事を知らないのか、「討論」を「質疑」と間違えているのか、各議員、代る代る立つて委員長に質問、委員長もいい気なもので「それは考えておく」とか「御希望にそうようにしたい」などと、当局そツちのけの答弁。これだけは完全にモノ笑い。

○…野沢バク弾にあえなく倒れた強口老、記者団に囲まれ「今日の作戦だけは大失敗だね、演説要旨も弁解一点ばりで落第だ」といわれ「うん」芝居は一人ではぶてねえ鈴木新平が死んでからダメだ」と本音を吐いていた。

諸橋市長怒る！

四年間のウップン爆發

志賀伝吉議員の「ザル水そう」に関する緊急質問は伊藤助役の強引な答弁に、志賀議員必死の攻撃も空しくあつけなく幕となつたが閉会後、諸橋市長立ち

四年間、終始熱心に市政の運営に協力された努力に対し満腔の感謝と敬意を表したい

と挨拶をのべたのち、俄然、声を張り上げ

ここで誤解をとくために弁明をしておきたい、大みね庫議員は「城坂踏切問題で市長は市民に陳謝せよ」といつたが、城坂踏切問題については市当局としては客観情勢とにらみ合わせ最善の策を講じている

と大みね議員をにらみつけて大見得を切つた。それに対し志賀議員自席から

市長！ごまかすなッ

と叫んだので諸橋市長

ごまかすとはけしからん、ごまかすとは君のことだ！

と志賀議員の席につめより大音声でどなり出し、さすがの志賀議員もアツ気にとられて逃げ出すという一幕もあり、傍聴席から拍手かつさい。

続く志賀バクダン

ザル水そうで一くさり

野沢提案騒動が終つたあと志賀議員が防火水槽問題の緊急動議をだし伊藤助役と応酬した

志賀議員＝平市内の防火水そうは漏水するのが多くたびたび市当局に検査するよう要求したが伊藤助役は検査する必要はないといつている、しかもまだ消防署に引つがないのはどうしたわけか、火防に対して市長はどんな考えをもつているのか。

伊藤助役が登壇して答弁しようとしたところ志賀議員「市長に訊いているのだ」と大声

伊藤助役＝私が答弁します防火水そうを消防署に引つがないのは市長が消防長を兼務しているから市で管理している、志賀議員は二十四日の本会議で漏水があるとはじめてもらしたがその前に私にそのようなことをいつたことはない。志賀議員のいうことはデタラメのキ弁だ一週間前消防庁から技術者がきて水そうを検査したが絶対大丈夫だと太鼓判を押して帰つた、水そうの検査は土木課が責任をもつてやつている。

大井川正巳氏

民主党公認に

県議選の公認を決める二十八日の民主党県連支部選対委で本郡では大井川正巳氏（常磐市）が公認された。

衣類ドロ捕る

内郷市綴町高野作無職村山三男(三〇)は昨年十月二十六日同市綴町沼尻署中島貞雄さん方から革ジャンパー一萬三千円相当を盗んで逃走中だつたが二十八日内郷署に捕つた。平署からも手配中だつたもので余罪多数ある見込み。

鉄橋通行中ハネられ即死

二十八日午後四時半ころ磐城市栄町片野工業所員林達男君(三二)は勿来町蛭田地内の常磐線蛭田川鉄橋を通行中、後からきた上り急行二〇二列車にハネられ即死した。

ナントナク なぐる

平市五色町自動車運転手鳴原立雄(三七)は二十六日夜七時ごろ酒に酔つて自宅前を通行中の同市北白土字三倉無職岡フジさん(三九)の後頭部を殴りつけ一週間の打ぼく傷を負わせ平署に捕まつた。何となく殴りつけたくなり殴つたものである。

県教委補充選 きよう告示

松崎誠氏の辞任に伴う県教育委員の補充選挙は今二十九日に告示され四月二十三日の投票日まで二十五日間の実戦に突入した。二十八日までの供託者は元靈山村公民館長橋内条之助氏（無所属）だけだが右社、自由からも一名ずつの対抗候補が出るもようである。本郡関係の立会演説会日程はつぎの通り

▽十三日、午後一時植田小、同七時湯本小▽十四日、午後一時内郷高、同七時小名浜一小▽十五日、午後一時平市公会堂。

緒方さんの美挙

二十八日午後二時ごろ内郷市福祉事務所を訪れ現金五百円入りの封書を黙つて置いていつた人があり便箋には「白い羽根共同募金に協力します」と簡単に書いてあつた関主事が調べたところこの感心な人は内郷市内町前田三一常磐炭鉱親和寮採炭夫緒方鶴蔵さん(四〇)で前回にも一般の募金に応じたほかとく名で五百円を寄附した

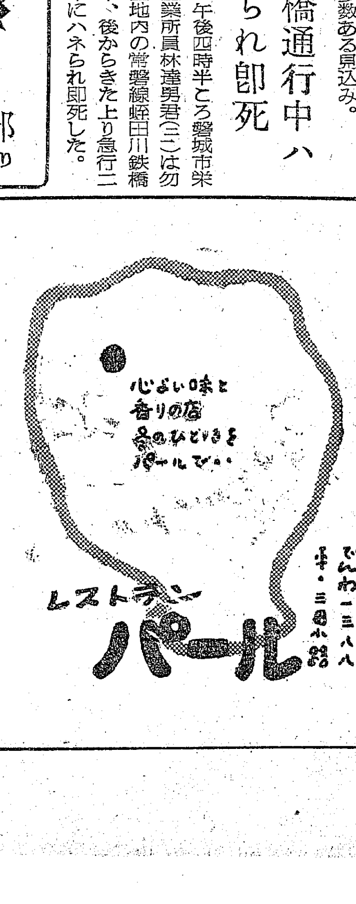
ミシンはハッピイ
[illegible]の小山で

洋装を生かす裏地
甲商サベリ特約店
丸進裏地部
平市東銀座通り

店員募集
一、新制中卒程度、男
一、二名程度
一、委細面談
大塚運動具店
平市駅前　電七七

お知らせ！
平衛生社が市民各位の衛生向上に尚一層努力致しますゆえ何卒官敷く御指導御鞭撻の上御指名下さい
尚衛生社では一般家庭及び會社等の「煙突」「便所」の掃除を引受けますから是非御利用下さい
平衛生社
電一六〇二番

書籍と文房具
ヤマニ書房
平駅前　電七七七


心よい味と
香りの店
春のひとときを
パールで…
でんわ一三八八
平・三町目小路
レストラン
パール

母チヤウ儀病気療養中の処三月二十八日午後九時三十分死去いたしました
ここに生前の御厚誼を深謝し　謹んで御通知申上げます
追而葬送の儀は来る四月一日午後二時自宅出棺金台寺に於て告別式を相営み埋葬いたします
昭和三十年三月二十九日
喪主　中野二郎
男　中野五郎
親戚総代　中野一衛
井上貞治郎
友人総代　塩　貞良
神谷市郎
木村幸雄
吉田知友

ポン防止論文つのる

石城教委 中、高校生から

県教委石城出張所では覚せい剤ぼく滅県民運動に協力するため中、高校生から覚せい剤防止の論文及標語を募集することになつた。内容は①覚せい剤の性質、害毒について②無知好奇心から使用しない③犯罪との関係④学徒として覚せい剤禍を如何にするか、その他で締切は四月三十日、入賞者一等（一名）二等（二名）三等（三名）佳作（若干名）には県青少年問題協議会長賞が贈られる。

湯本櫻まつり

観音山中心にボンボリ

藝者の手おどり

常磐市商工会議所では湯本鎮座温泉神社例祭を中心にして盛大な花まつりを行う。一日から三十日まで一カ月間にわたつて行うことになつており駅構内には湯本温泉という名入れの御神燈二十個のほかボンボリ二百個をとりつけ観音山御幸山を不夜城にするためボンボリそれぞれ五百個市内には四百個のボンデリをとりつける。また花まつりに景気をつけるため多彩な行事を計画しており七、十日は温泉神社前で芸妓の手おどり十日は商店宣伝懸賞は仮装大会として広告カーニバル十二日は懸賞付打上げ花火、十三日は観音山で素人のど自慢大会、十四日温泉神社前でひなどり会の舞踊温習会などをひらくが十五、十六の両日は常磐炭鉱で駅伝競走、演芸大会、打上げ花火、野球大会などを行うので二度と会議所では二十四日公民館に流行歌手津村謙をまねき春の歌謡まつりを行う

退職金六割増

第四条適用者の制限

高給・廿年勤續

勧告による退職教員の退職金は七月末までに支払うことが決つたが通常の六割増となる退職条例第四条の適用を受けるのは高給教員および二十年以上の勤続者だけであることがこのほど明らかにされた四条適用はつぎの通り

▽小中学校長および教諭平均給一萬五千五百三十六円以上

▽高校関係、一萬九千八百五十五円以上

▽盲ろう校関係、一萬六千四百八円以上

▽小中校事務職員、一萬二千五百六十円以上

▽高校事務職員、一萬五千三百四十円以上

但し恩給受給職員には適用されない

おツユチョーダイ

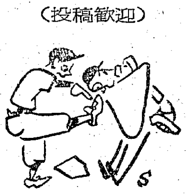
○…最近おデンヤがあちこちにできてきた。昔は「酒飲みとおデンヤ」はきつてもきれぬ因果関係にあつた。「おデン」といえば「お酒」「お酒」といえば「おデン」といつた具合である。ところが今どきの若い人たちはスタンドバーにちよい横むきに腰をかけイキな女給さんのおシャクでステツプを踏むのが通例のようだが二丁目の「一平」で飲んでいた新婚早々の新聞記者「おツユをチヨーダイ」「ヘイ、シルはサービス、シルを求められるのがおデンやの光栄のいたりで」と、いわれ「このタレでウドンをくつたらウマカツペエ家へもらつていきてエもんだ」には並いるメンメン強シンゾウに目をぱちくり…その御仁会う人ごとに「一平のおデンはうまい」と宣伝これつとめている。シルを貰つて帰つたかどうかは分らない。

生菓子と芸者

○…好間村の某商店のダンナはカタブツで通つている。お酒は一滴もあがらぬので有名だがあのミチだけは別だという評判。或日物好きがなけなしのサイフをはたいてこのダンナを尾行して料亭にあがつた。ところがトロリンコンと甘い生菓子をとりよせるわ、とりよせるわ無慮百個に及んだ。「イキな音締めであの娘と向い。差しす差されつ…」とは違つて「くいつくわれつ」甘いところをご披露、結局はお泊りになつたそうだ。芸者遊びに酒の入らぬ話ははじめてだと腰をぬかしたこの物好きもお隣りでおつき合いしたそうだが驚いた遊び方もあるものだとヤマの話題を賑わせている。

ユーモア大學

（投稿歓迎）



効果てきめん

セガレ立候補しないでくれ

—デボ注射した親父

（常磐 トーサイ）

映画と講演

自由メソヂスト

平市杉平の平自由メソヂスト教会では四月一日から三日まで毎晩七時半から映画と講演の夕べをひらく。講師は北米自由メソヂスト伝導局エドワード・ジヨン師、日本自由メソヂスト宣教師会長ノーマンオーヴァーランド師で映画は西部記録〃デキサスの男〃入場は無料。

福祉事務所に寄附

平市正月町鈴木仁蔵さんは二十八日平養老院と福祉事務所にそれぞれ三千円を寄附した。また同市南町一中二年林哲夫君は警察から還附された千円を福祉事務所に寄附。

今夜の映画（三ー元）

◇聚楽館（二九ー四）燃える幌馬車 第8ジエツト戦闘機隊（六、五五）

◇世界館 哀しき富士の白雪よ 花ざかり男一代（七、一〇）

◇平 館 只今婚約中 続天下泰平（七、〇〇）

◇民 劇 隠密若衆 ここに泉あり（六、〇〇）

◇ひかり座 醜聞殺人事件 テキサス街道（六、二二）

◇第二いわき（二七ー二九）青い麦 浮雲（六、三〇）

◇緑映劇（二七ー二九）一寸法師 警察日記（六、五〇）

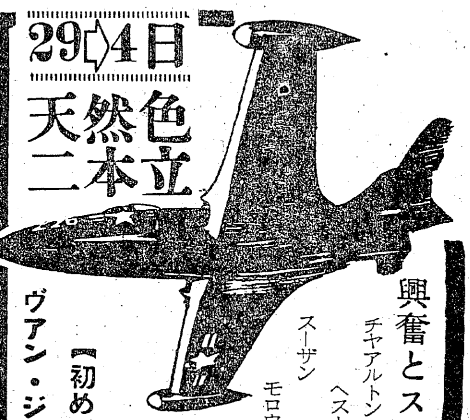
①上映時間は夜の部 ②映画題名は上映順

銘菓 桃の井
金沢屋
平一丁目 電327

天婦羅 月廼家
平市南町 電三〇四

平競輪
4月 2日(土)3日(日)4日(月)
発走 午前10時
場外賣場 大町・郡山 若松・福島

〃そば〃〃うどん〃をテーマとした
俳句川柳懸賞募集
〃そば〃〃うどん〃の麺類食は昔から日本の主食として用いられ現代は一日一食、またそばは高血圧者の薬剤に愛食されています、この度〃そば〃〃うどん〃をテーマとした俳句、川柳を左記要領により広く学生、一般から懸賞募集を致します。
応募規定
一、そば・うどんを主題とした俳句
〃　〃　川柳
一、應募期間 三月十五日から三月三十一日まで
一、應募用紙 ハガキ
一、用紙にかならず住所氏名記入のこと
一、一人何篇でも可
一、作品搬入先は 平市銀座街酒喜庵
一、審査員 鈴木光四郎、菅林未鴬子、佐々木竹尾
一、発表は四月五日 三和新報紙上及び酒喜庵店前
一、賞品（各俳句、川柳とも同じ）
☆一席 一名 そば、うどん三十回食分招待券
☆二席 二名 〃 十五回食分招待券
☆三席 三名 〃 十回食分招待券
主催 平市銀座街 酒喜庵 電一七一
後援 三和新報社



29⇨4日
天然色二本立
第8ジェット戦闘機隊
ヴアン・ジヨンスン ウオルタア・ピジヨン
【初めて公開される新航空作戦の様相】
燃える幌馬車
興奮とスリル溢れる痛快無比の異色西部活劇
チヤアルトン・ヘストン スーザン・モロウ
弾丸ジエツト機のパイロット達が朝鮮の空に描くスリルの人間ドラマ
ルイス・キヤルハーン
デユウエイ・マーテイン
聚樂館

整形外科
外科
内科
レントゲン科
理学診療科
入院随時
福島県平市三十米道路
医療法人 竹林病院
院長 竹林貞吉
電話六〇八・八一一番

家具専門店
婚礼調度用品
どこよりも安いと評判の店
明智家具店
—信販チケット御利用下さい
平市駅前（三十米道路）
内郷市内町前田 営業所

26日→31日 全店月末セール
学生服特売
御進学御入学御目出度う御座居ます
KO服から 大学服まで 学生服のことなら
鈴藤が一番です
（御祝品進呈）
スプリングコート コレクション
キツトお気に召す鈴藤の紳士スプリングコート！
軽快でスポーテイな昨年から流行のバルマカン襟を是非お進めいたします
豊富な品質と豊富なスタイルの
婦人スプリングコート！
読売大サーカス
御招待券進呈
衣料品のデパート
鈴藤